

IoT技術を活用した食品製造現場の可視化(遠隔監視・制御)による「現場に行かない働き方」の実証事業 総事業費 5,328,128円

事業者名：スキャンテクノロジー株式会社（所在地：宮崎県都城市）

事業の内容

事業目的・概要

- 焼酎・しょうゆ・みその「製麹工程」は90%RH以上の高湿度環境で最適温度を保持する必要があり、既存の機器では遠隔測定・制御が出来ず、現場での人手による温湿度測定・制御が必要な状況にある。
- そのため、「製麹工程」の温湿度測定・制御が自動で行え、遠隔制御できる「遠隔監視・制御システムの導入」などの機運が高まっている。
- ポストコロナ時代の課題解決実証事業するには、高湿度環境での温湿度測定・制御ができる機器が必要となるため、以下の取組みを実施。
 - ①90%RHの高湿度環境下で温湿度できる測定器の開発
 - ②測定器を遠隔制御できるシステムの開発
 - ③測定・制御状況をインターネット経由で確認できるシステムの開発

実証フィールド

- 柳田酒造合名会社（都城市）
- 早川しょうゆみそ株式会社（都城市）

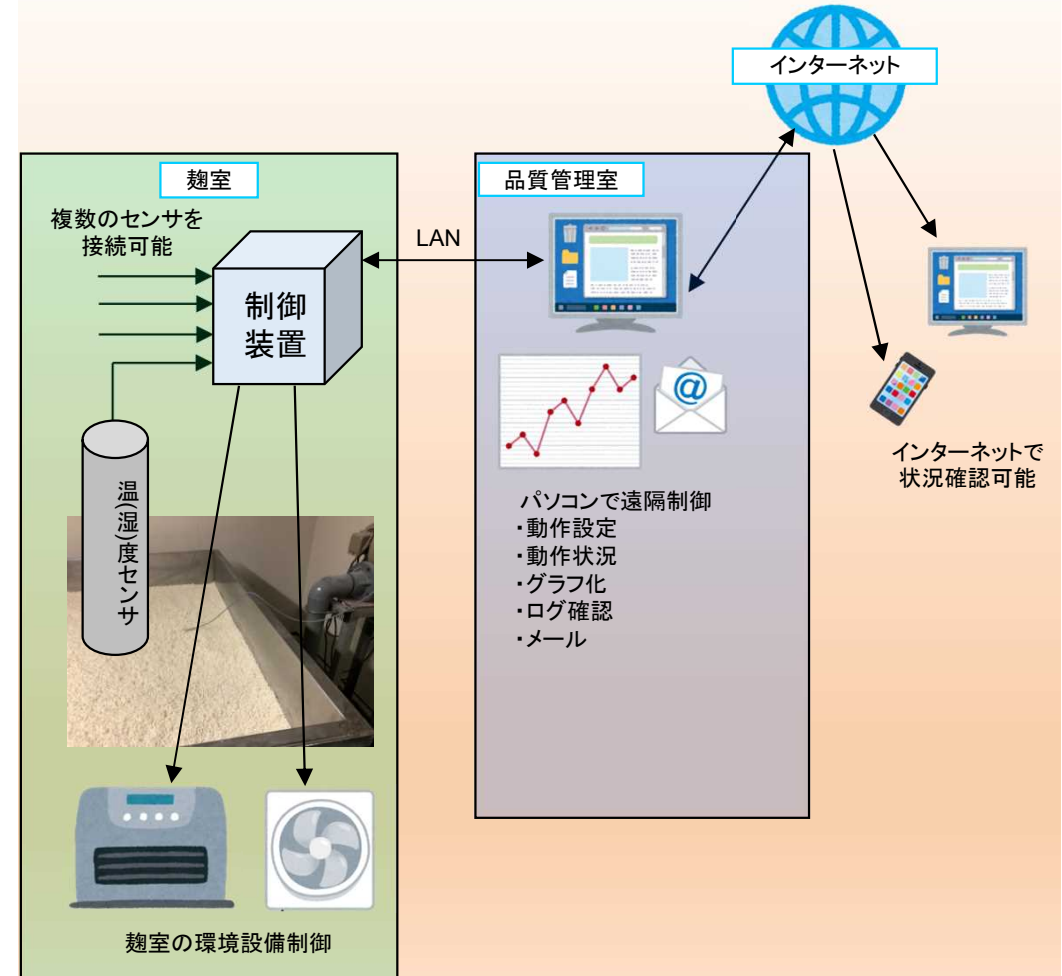
本事業の目標

- ①「製麹工程」の温湿度測定・制御の現場作業人員0人
(管理室等での遠隔制御・管理)
- ②高い年齢層でも操作しやすい・判りやすい遠隔制御システムの構築

本事業終了後の展開

- ①実証フィールドの事例を「宮崎県酒造組合」「宮崎県味噌醤油工業協同組合」にプレスリリースし横展開を図る。
- ②焼酎・しょうゆ・みそ以外の分野への横展開を図る。

事業スキーム等



温湿度の遠隔監視、ヒーター・ファンの自動運転による製麹工程の遠隔制御